帯広市コミュニティ・スクール（CS）通信 Vol.17

帯広市では、社会総掛かりで子どもの学びと育ちを支える仕組みづくりを進めています。コミュニティ・スクール（ＣＳ）は、学校・家庭・地域が目標を共有して、ともに子どもを育んでいく取り組みです。

令和７年度　コミュニティ・スクール研修会を開催しました

令和７年６月２６日(木)に、学校のＣＳ委員やＰＴＡ、地域ボランティア等を対象としたコミュニティ・スクール研修会を開催しました。

十勝教育局出前講座「コミュニティ・スクールとは」

コミュニティ・スクール研修会の前半は、十勝教育局教育支援課の福原菜都美様、有働雅哉様からコミュニティ・スクールの概要についてお話しいただきました。

子どもや学校を取り巻く環境や課題が複雑化・多様化しているなか、学校・家庭・地域が一体となって課題解決のため継続的に取り組むことができる仕組みが、コミュニティ・スクールであるとの説明がありました。

講座の中では、研修会参加者同士が話し合い、熟議を体験するーコマもありました。また、今後の熟議のテーマとなりうる「中学校の部活動地域移行」についてご紹介いただき、参加者は真剣に耳を傾けていました。

参加者からは「今一度コミュニティ・スクールについて確認することができ、有意義な研修会でした」、「コミュニティ・スクールの理解が深まりました」といった感想をいただきました。

緑丘小学校の地域学校協働活動

帯広市学校支援アドバイザーであり、緑丘小学校のコミュニティ・スクール協議会委員でもある保前明美様に、緑丘小地区のコミュニティ・スクールや地域学校協働活動で実際に行っていることを発表していただきました。

保前様がボランティアに関わったきっかけや地域との関わりを深めていった経緯を交えながら、地域を守り続けていくためにも、地域の子どもたちを学校と共に育んでいく必要があり、子どもたちや学校のために何ができるかを考え、できることをできる範囲で協力することが大事であるとお話しいただきました。

また、地域と学校とをつなぎ、双方の声を届ける地域コーディネーターの重要性についても触れ、参加者の方々にもぜひ地域コーディネーターになってほしい、と呼びかけていました。

参加者からは「他地域の具体例を聞くことができ、とても参考になった」、「地域や学校と向き合うことに前向きな気持ちになった」、「PTAや町内会とうまく連携を取るためにも横のつながりを広げていくことが大切だと感じた」といった感想をいただきました。

【こども学校応援地域交付金】のご紹介

地域のボランティア団体が協力して行う子どものための活動に対して、１０万円を限度に交付金による支援事業を行っています。令和6年度には、地域が協力して学校で行う夏祭りや、防災訓練、学校の環境整備などにご活用いただきました。詳しくは、帯広市ホームページをご覧ください。

また、予算には限りがありますので、活用したい事業がある場合は、下記問い合わせ先までご連絡・ご相談ください。

【発行・問い合わせ先】
帯広市教育委員会 学校教育部 教育総務室 学校地域連携課
TEL：0155-65-4162　　Email：school_cooperation@city.obihiro.hokkaido.jp

（令和７年9月１６日発行）

帯広市　コミュニティ・スクール　検索